

西安交通大学城市学院のウェブページに本学教員の訪問記事が掲載されました

<http://www.xjtucc.edu.cn/nry.jsp?urltype=news.NewsContentUrl&wbtreeid=1123&wbnewsid=7297>

記事の日本語訳：

2013年4月27日午前、西安交通大学城市学院の招きを受け、愛知大学の梅田康子教授が本学院を友好訪問してくださいました。学院の副院長である崔杜武教授と貴賓室にてなごやかに会談を行い、双方がどのように日中の学生の更なる交流を進め、グローバルな視野を備えた人材を養成するかといった問題について意見交換を行いました。外国語学部日本語専攻の首席顧問である顧明耀教授と日本語教師である筒井紀衣氏も今回の会談に参加しました。

会談中、崔杜武副院長が、西安交通大学城市学院の概況と、現在学院が日中で行っている協力交流項目の状況を簡単に説明しました。学院では、言語方面を専門とする学生が言語を学んだり言語を用いて実際にさまざまな交流を行うことを全面的にサポートしており、梅田教授のこのたびの訪問で、本学院の日本語教授及び学生養成に対してぜひ多くの指導協力をいただきたいと述べました。梅田康子教授は、愛知大学現代中国学部では、毎年200名近くの学生を受け入れ、外国の文化を理解する力と日本を伝える力を備えたグローバル人材を養成しており、積極的に中国の各大学との間でさまざまな交流を開拓しており、近い将来本学との間でも更なる具体的な協力関係を作りたいと希望していると話しました。

27日午後、梅田康子教授は本学院の日本語専攻一・二年生と他の専攻の一部の学生にすばらしいセミナーを行ってくださいました。梅田教授は、ご自身の長期にわたる留学生に対する日本語教授の経歴から、「留学生が見た日本」をテーマとし、留学生の目から見た日本、留学生が外国に留学して直面するさまざまな状況など留学に関連する事柄についてお話されました。本学院の日本へ留学を希望する学生も、もし留学中に交流がうまくいかなかったら、とか文化の違い、生活習慣の違い、新しい環境への不適應などの疑問について、梅田教授に積極的に質問をしていました。最後に、外国語学部の顧明耀教授が、梅田康子教授に、本学院に来院し日本語教授についてご指導くださったことに歓迎と感謝の意を述べました。顧教授は、言語専攻の学生は言語を学習するだけでなく、海外の文化も理解する必要があり、文化と社会に対する理解を重視することが、言語学習に不可欠なことだと述べました。

本学院の優秀な日本語教師である筒井紀衣先生は、梅田教授の学生であったとのことで、梅田教授の推薦により本校に赴任しましたが、まじめな仕事態度と活発な授業のしかたには外国語学部の教師、学生から好評を得ています。梅田教授は、今回特に時間を割いて筒井先生の授業をお聞きになり、またご指導くださいました。他にも、愛知大学のインターネットを利用したテレビ会議システムを外国語学部にも導入することにより、西安交通大学城市学院で学ぶ人たちが定期的に愛知大学の学生と交流し、言語学習への情熱を刺激し、今後の他の交流活動のための基礎としたいとしました。